

■『うごかそう、みんなで。』篇 概要

かんぽ生命は、ラジオ体操の普及促進活動を通じて、健康寿命の延伸に貢献してきました。

その健康的な身体づくりは、心も社会も満たされる、明るい未来をつくることにつながると考えています。そこで今回、身体を動かすこと、社会を動かすこと、そして未来を動かすことをテーマにした TVCM を制作しました。

メッセージの背景に流れるのは、誰しも一度は耳にしたことがある希望の朝を象徴する楽曲、「ラジオ体操の歌」。多様性に富んだキャストが創り上げる現代的なアレンジで、これからの未来を予感させる、より新しい印象に仕上がりました。

今話題のピアニスト、ハラミちゃんをはじめとした、様々な年代性別やバックグラウンドを持つキャストが出演し、メッセージを鮮やかに彩ります。

同時に、かんぽ生命が行う様々なサステナビリティ活動も紹介。かんぽ生命は持続可能な未来に向けて、お客さまと、社員と、そして社会とともに進んでまいります。

■かんぽ生命とラジオ体操について

当社の起源である逓信省簡易保険局が1928年（昭和3年）に「国民保健体操」として制定し、日本放送協会のラジオ放送で広く普及しました。体操の内容も1951～1952年（昭和26～27年）に「ラジオ体操第一・第二」として再構成、誰でも気軽に実践できる運動として現在も多くの方に親しまれています。1999年（平成11年）9月には、新たに「みんなの体操」が制定されました。こちらは国連の「国際高齢者年」にちなんだもので、「ユニバーサルデザイン」という考え方のもと、年齢・性別・障がいの有無を問わず、すべての人々が楽しく安心してできる体操として考案されました。

かんぽ生命は、これからもみなさまの健康づくりにお役立ていただけるよう、ラジオ体操・みんなの体操の普及促進に努めてまいります。

■かんぽ生命のサステナビリティアクション

ラジオ体操の普及促進

現在も多くの方に親しまれるラジオ体操の輪がさらに広がるよう、全国各地のイベントなどを通して普及促進しています。

再生可能エネルギー発電事業のサポート

長期的な資産運用を行うユニバーサルオーナーとして、持続可能な社会の実現と長期的な投資成果の向上・リスク低減を目指し、環境に配慮した再生可能エネルギー発電事業など、脱炭素社会実現に資する投融資を積極的に行っています。

ダイバーシティの推進

人材開発部に設置したダイバーシティ推進室を中心として、「女性活躍推進」「ワーク・ライフ・バランス」「障がい者雇用推進」「LGBTフレンドリー」の4領域においてダイバーシティ・マネジメントを推進しています。

働きやすい環境づくり

ワーク・ライフ・バランスを高い次元で実現すべく、ガイドブックの改訂のほか、(1)テレワークの推進、(2)業務の効率化による時間外労働の削減、(3)育児休業者の職場復帰支援、(4)介護休業に関する啓発活動を推進しています。

■「うごかそう。みんなで。」篇（30秒）ストーリーボード 1/2



うごかそう。



誰もが輝ける



うごかそう。



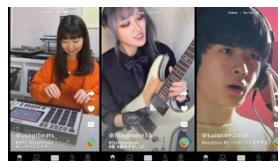
いきいきとした



社会のために。



毎日のために。



うごかそう。



毎日のために



希望あふれる



未来のために。

■「うごかそう。みんなで。」篇（30秒）ストーリーボード 2/2



かんぽ生命



私たちが目指すのは



すこやかで明るい明日を



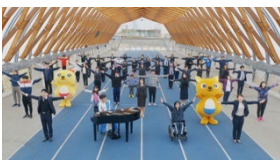
あなたとつくること。



さあ、



うごかそう。
みんなで。



未来に進む、
あなたとともに

■「うごかそう。みんなで。」篇（6秒）ストーリーボード 1/1



かんぽ生命は、



みなさまの



健康を



応援しています。



さあ、
うごかそう。
みんなで。

■出演者プロフィール

◇ハラミちゃん

YouTubeを中心に活躍するポップスピアニスト。2019年6月から「ハラミちゃん」として本格的に活動開始。「ピアノを身近な存在にする」を目標に活動し、YouTubeでの動画総再生数4億5000万回以上、チャンネル登録者数約191万人（2022年1月現在）。絶対音感、即興演奏などの特技を活かし、東京都庁や京都駅、仙台空港など、各地のストリートピアノ動画で人気急上昇中。2022年1月に日本武道館公演『STREET PIANO in 日本武道館 ～ハラミちゃん 947 日目のキセキ～』を開催するなど、活動の幅を広げている。

◇DAICHAN

ダンサー。SOCIAL WORKEERZ 二代目代表。KRUMP を中心にパラストリートアジア大会優勝。番組、CM 多数出演。日本人初の低身長症 Krumper、保健体育科教員免許保持者として身体表現の可能性を伝えている。

◇かんばらけんた

車椅子ダンサー、サーカスパフォーマー。車椅子の上での逆立ちなど、上半身を最大限に生かした技が特徴。東京パラリンピック開会式や、紅白歌合戦にも出演、今大注目のパフォーマー。

◇ベビー・ヴァギー

ドラッグクイーン。現在NHK Eテレ『バリバラ』でいろいろさんの声も担当するなど、各方面で多才な活躍をみせる。元理学療法士で温泉ソムリエの資格も持つ。

◇オナン・スペルマーメイド

ドラッグクイーンという枠にとらわれない唯一無二の個性を誇り、TV 出演やモデル、ホテルショーや司会のほかミュージカル出演など幅広く活動。演劇的手法を用いたクラブパフォーマンスも魅力。

◇MPC GIRL USAGI

DJ、MPC プレイヤー、Beatmaker。Funk / R&B / HIP-HOP を中心に、様々なアーティストと共演。”生演奏とテクノロジーの融合” をテーマに音楽活動を行い独自の演奏スタイルで注目を集める。

◇Lisa 13

ガールズバンド『BAD BABY BOMB』のギタリストとして活躍。義手ギタリストとしての独自の演奏スタイルでも注目を集める。東京パラリンピック閉会式ではギターソロを担当。

◇KAITO

ヒューマンビートボックス。小学一年生からビートボックスを始め、2021年開催のキッズ日本一決定戦「Dream of Beats」で小学生唯一のベスト8に残る。現在は中学一年生でありながら大人顔負けの卓越した技術を武器に、今後の活躍が期待される。Beatbox Lab. 所属。

◇ロボホン

シャープ株式会社と高橋智隆氏が共同開発した、会話のできるモバイル型コミュニケーションロボット。身振り手振りを交えてお話しをしたり、電話やメール、カメラやアラームなどスマホの機能が使えるほか、ダンスや踊り、逆立ちなども得意。

◇焰魔るり

バーチャルシンガー。2018年にREALITYにてライブ配信活動を開始して以降、YouTubeに週1本ペースで歌カバー動画を投稿し、オリジナル楽曲リリース、イベントへの出演など、リアルとバーチャルの垣根を越えて様々な場所に活動を広げている。ライブユニオン所属。

■制作スタッフリスト

広告代理店	ADK マーケティング・ソリューションズ ADK クリエイティブ・ワン
CD	大塚智
PL	土肥龍介/佐藤充
CW	堤瑛里子/岡田大毅
AD	前川星花
CAS	森勇治 (A-Bridge)
広告制作会社	ROBOT
PR	下野篤史
PM	中村薫
Dir	くろやなぎてっぺい
Cam	上池惟孝・浅賀達志
Light	池田智之
Casting	長谷川ゆうり
Sty	菊地文子
HM	MAKIKO endo
Music	鮫島充 (P-CAMP)
Edit offline	大塚淳也
online	鈴木健也 (デジタルガーデン)
Mixer	川村 知嗣 (デジタルガーデン)
Colorist	西田賢幸 (C STUDIO)
NA	明石はるか (大沢事務所)